

「地域みんなで農業守りたい」

埼玉・熊谷市
矢田堀さん夫妻

夫婦二人三脚で品質高め

【埼玉】熊谷市の矢田堀善昌さん(55)、和江さん(52)夫妻。写真は、善昌さんの父母とともに米麦約20畝のほか、ネギなどの野菜やイチゴを栽培している。

実家の農家を継ぐため、善昌さんは50歳の節目に会社を退職。夫婦そろって県農業大学の短期野菜専攻に入学した。善昌さんは1年間、和江さんはその後さらに1年間有機農業を学び就農。善昌さんが米麦など、和江さんが野菜とイチゴを担当している。

矢田堀さん夫妻が新たに始めた取り組みは、ネギやナスなどの苗づくり。生産コストを抑えて丈夫な苗が育つよう、培土や水やり、温度管理や



病害虫対策に工夫を凝らしている。何事にも勉強熱心で、夫婦で農業技術検定や毒劇物取扱責任者の資格も取得。「農業は手をかけたただけ立派な作

物ができる。市場出荷も視野に入れ、高い品質の野菜づくりをめざしたい」と夫婦で語る。

今では地域からの信頼も厚く、農業を引退する人から、農地を借り受けることも多い。そこには「息子世代が農業をするときのために、地域農業を次世代につなげていきたい」という善昌さんの思いがある。

これからの話を二人に聞くと「イチゴを使った加工品にも取り組んでみたい」と和江さん。善昌さんは「地域に密着した農業者となって、地域みんなが農業を守りたい」と思いを話してくれた。